



家長だよ

NO.10 R6. 6.10 (Mon)

運動会のご参観ありがとうございました。

うめ組  
もも組  
さんほ

いつもとは違う(女) 体育館という環境に加え、お父様、お母様など、多数のお家の方々の参観もあり、特にうめ組、もも組さんは、甘えたいモード全開で、保護者様から離れられず、泣く姿も見られました。

でも、いつも園で頑張っている証ですもの、無理はないですね。

こんな時だからこそ、甘えたいんだろ〜な〜「分かる、分かる、私もそんな想いで、泣く姿すら愛おしく見守っていました。むしろ、私は...

「どうぶつでんしゃがやってきた」の遊戯は、拙いお母さんお父さんにしながらも懸命に踊る姿が、かわいいの存人の!! みついている姿が羨まなんなら、立っているだけでも充分かわいくて、愛してくる人生の中で、こんなにはなかったですね。「おうちのひとまでよ〜リドン」で、全力で甘えてくれる時期お父様お母様目指して、胸にとび込んでくっついて長くなると思うんですよ。子どもの満面の笑顔、そしてそれを大きく手を広げて包み込んで下さるお父様お母様の笑顔も、これ又とびつきりぞいどのシーンも、バカほっこりし、温か〜く存りました。

さくら組さんでは「よさこいソーラン」の遊戯では、鳴子を手に、正に勇装に踊る姿は、もも組から確実に成長した逞しさが感じられました。

ついこの前まで、赤・橙・ピンクの帽子を被って...寂しくて泣いている子ども居たのに...と、入園の頃を思い出して、ひとりジーンとする私...

お母さんお父さんにかっこいい所を見て貰うんだと、「どっこいしょどっこいしょ」の掛け合いの声色、手先、視線までにも意識したんですよ!!

ふじ組 和太鼓演奏から、組体操などと競技に及び頑張りました。

組体操は、自分一人ではなく、常に組む相手と呼吸を合わせる必要があるんです。ラストの「志都呂大橋」では、腕力・腹筋力・バランス・体幹、あらゆる力を集結させて臨みました。今年は、全体で二本の志都呂大橋にしようとかんがりの大技にチャレンジ！見事成功しこの時点で涙が込み上げてきて...

今までみんな頑張ってきた過程が、更に出てきて...

そしてプログラムのラストのリレーでは、子ども達の真剣に走る姿はおおよそ幼稚園児とは思えない程に逞し、その一人ひとりの表情を目にするだけで練習の時点で感動し、どのシーンもこみあげてくるものがありました。正直、個々の速度には差があったり、時にバトンを落としたりフケテントもありました。でも、誰ひとり個人を責める事なく、チームで丸くなり、バトンを受け取った時には自分の持っている力を全部出してバトンを繋いでいくチーム力、リレーという競技は、決して運動面の育ちだけでなく、コミュニケーション力や、互いを受け入れ認め合うチーム力など、これからの人生において必要な「生きる力」など、いかに多くの力を育てることが、子ども達の一戦一戦を経験し、悔し涙・喜びの涙を見せてくれる。子ども達が教えてくれます!!

更には、先生と子ども達とで紡ぐできた。

信頼感も、大きな成長の証です。



一学期の大きな行事であります運動会を経て、ひと回りも、ふた回りも大きくなった子ども達!

結果ではなく、個と皆(友達)と先生とで歩んできた過程の大切さも、行事ごとに痛感します。

残りの一学期の日々も、一日一日を大切に、全カで頑張っていきます!!

宜しいお願い致します!

